

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第4回未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」
開 催 日 時	平成25年1月8日（火）午後7時00分～9時00分
開 催 場 所	中部地区会館405会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：（委員）石井一弘、石井友里菜、今北洸平、大谷亜由美、加園裕一、原田裕一、八代理沙、田太涼也 欠席者：向後俊佑 事務局：秘書広報課長、秘書広報課主任
報 告 事 項	1 第3回未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」の会議録について 2 その他
議 題	議題1 班研究 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1 班研究 市内（市民にとって武蔵村山市は魅力があって住みやすい街であることを、さらに知ってもらうための研究）と市外（市外に対して、武蔵村山市の魅力を発信することの研究）の各班は、次回会議の進め方・方向性を絞っていった。 その他 次回の会議の日程について、第5回会議は2月12日（火）午後7時から確認した。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)  (発信者) ◎印：リーダー ○印：委員 ●印：事務局	議題1 テーマ研究 ◎リーダーより、所用により遅くなるとの連絡を受けているので、サブリーダーの原田が会議を進めて行きます。 ●報告事項1ですが、会議録がP1～P5に記載されているので、御覧頂き訂正等ありましたら、後日、連絡いただければと思います。報告事項2、その他でございますが、平成25年1月より源泉徴収の税率が変更された関係で、謝礼より引かれる所得税の金額が変更となります。 ◎議題1は、班研究となっておりますが、前回会議でテーマを決め、「武蔵村山市を知る」ということになり、「市内」と「市外」に班を分けて進めていくことになりました。加園さんと田太さんについては、本人の希望を聞いた上で、どちらかの班に入ってもらおうことになっています。 ○どちらでもかまいません（加園）。 ◎それでは、加園さんは「市内」の班に入ってください。 ◎本来は、ここから「市外」と「市内」に分かれて進めたいところですが、私（サブリーダー）は、「市外」の班向けに本日のレジュメを作り、資料も持ってきました。そこで、「市外」はこのように、考えていくとわかっていただくためにも、皆さんに聞いていただければと思います。資料の数が少ないので2人で見て下さい。 ◎資料は、情報館えのきにて、いただいていたものです。多数のマップがあり、商工会やうどんの会、資料館等から提供されているようです。皆さんも良い資料等があれば、提供してください。 ◎レジュメにあるとおり、今回の会議では、「市外」の班としては、既存の資源を利用するのか、まったく新しいものを作るのかで、どちらの方がより実効性があるのかを話したいと思っていました。例として、4つあげていますが、「交通の便をよくする」と「新しい「名物」の発明・発見」については、既存の資源を利用するに該当します。「アンテナシ

ョップをつくる」と「ご当地キャラクターの選定」については、まったく新しいものを生み出していくに該当します。

1つずつお話していきたいと思いますが、「アンテナショップをつくる」については、道府県のアンテナショップは都内に多くありますが、仮に、武蔵村山市のアンテナショップを作る場合には、立川・新宿が良いと考えています。立川の理由は、武蔵村山市行きのバスが出ていたり、玉川上水や上北台まで、モノレールが通っている関係で、集客に大きく影響すると考えるからです。新宿ですが、東京都庁で23区の特産市のようなものを行った実績があるためです。

次に、「交通の便をよくする」という点では、私が考える案は2つあります。1つ目は、市役所やイオンモールから西武ドームへバスを通すというものです。入間のアウトレットモールへは、立川駅や羽村駅などからバスが出ており、それを見習わない手はないのではないかと思います。2つ目は、レンタサイクルや乗り合いタクシーの導入です。イオンモールまでは、車・バス等で人が集まってきますので、そこから市内に人を分散させられればという考えからです。そのためには、人の気を引きつける物（場所）などが必要となってきます。

そこで、関連してくるのが「新しい「名物」の発明・発見」だと思います。以前から、観光マップ（特産品、名物等）のようなものは、いろいろありますが、それをもうひとひねりするのかが、まったく新しい名物を考えることが必要。お茶であれば、他の産地を参考に考えるのも良いと思います。村山大島紬についても、桐生、西陣などの絹織物の有名どころの取り組みを参考するのが良いと思います。

最後に、「ご当地キャラクターの選定」ということで、『ひこにゃん』や『せんとくん』などが有名ですが、これらと同等に比べられるような、ご当地キャラクターであればアピールできるのかなと思います。まずは、きっかけとして知ってもらうには、良い方法だと考えます。

◎留意点として考えているのは、「市内」と「市外」の班の兼ね合いなのですか、同じような案件を考えて行くのか、「市内」「市外」が全く独自で案件を進めるのかはっきりさせた方が良いのかどうかと思っています。

○知ってもらうためにどうすればよいか考えた時に、発信することが重要で、情報館えのきなどは発信しきれていない。新しいものを作っても現状では、世の中に知られないまま終わってしまう。既存の資源である情報館やさまざまなマップをもう少し考え直し、既存のものを基本にしつつ、その上で新しいものを作らないと意味はないと思います。

○ご当地キャラクターは、すぐに作れるかも知れないが、村山とは何というものをしっかり示さないといけないと思います。

○アンテナショップを作ることが良いと考えています。大宮駅のエキュートには、マンスリーショップがあたって、特産物やキャラクターグッズ、スイーツなどの店が入り多くの人を集めている。そこで、市のお茶パンやうどんを売る。置いておいて、見てもらうだけでも良いと思う。東京都内の人達にすれば、東京都内で作られているお茶やうどんを食べるのは意外な感覚だと思う。おしゃれな街（たとえば、吉祥寺）の人達に感心を持ってもらえれば。そうなった場合、お茶やうどん等の開発や企業との提携で「市内」の班と連携を取っていくことになると思います。

◎今までの話を聞いて、「市内」の班の方は、どのように考えていますか。

○知ってもらう前に、自分達が知るべきというのは同感です。知るという

意味では、「市内」と「市外」の班は区別せずやっていくべきだと思います。この会議のメンバーで市内を歩いてみるのが良いと思います。

○現実的な問題として、食べ物関係であると保健所等の関係でいろいろと制約があるようです。ですが、まずどんどん自分の意見を出すことが重要だと思います。

●確かに、食品は制限が多いようです。

○武蔵村山市には、文明堂、天乃屋、紀ノ国屋等の大手企業があるので、コラボしてみるの、面白いと思います。

●できるかどうかは、別として、話を持っていくことはとてもおもしろい発想だと思います。ただ、企業がどの部分で、メリットを見出すのかわかりませんが。地元のことに協力的な企業は多いと思います。市の認証ブランドすることも出来るかも知れません。

◎市の認証ブランド制度とは。

●武蔵村山の地産のもので、できている商品でほとんどが食品です。現在登録しているものは全部で、9つほどあります。市が認めた商品だということになります。話が進んでいった場合は、きちんとした資料を用意します。

○前回会議の中で、アンテナショップの話が出たが、そこで新宿に作ってはとの話があったが、新宿にいる人が都民かどうかもわからないし、年齢層もさまざまである。最初は、多摩地域の大きな駅をねらった方が良いでしょう。また、ロコミというのは、影響が大きいと思います。そこで、市をもっと自分達が知らないといけない。

◎それでは、ここで「市内」と「市外」の班に分かれ話をさせていただきたいと思います。

ーリーダー、田太氏到着ー

ー各班に分かれ討論ー

◎「市内」の班としては、これからやるべきことが徐々に明確になってきました。

○（サブリーダー）「市外」の班は、作成してきたレジュメに沿って、話をし、次回以降これを膨らませて行くという感じになっています。

◎第四回目の会議を終了しようと思いますが、事務局の方からその他として何かありますか。

●特にありませんが、来月以降の会議では各班に分かれて話が進んでいくと思いますので班毎に、会議録を作成します。リーダー、サブリーダーには、会議内容の要旨作成などご協力いただくかもしれませんので、よろしくをお願いします。

◎次回会議は、2月12日（火）午後7時からとなりますので、よろしくをお願いします。

ー質疑・意見等なしー

会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 [ ]	傍聴者： 0 人
-----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示	
	<input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等：	)
	<input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等：	)

庶務担当課	企画財務部 秘書広報課 (内線： 314 )
-------	------------------------

(日本工業規格A列4番)